

グローバル教育院エンパワーメント情報学プログラム 学位論文（博士）審査基準

（審査体制）

1. 専門委員会の構成

主査 1 名、副査 4 名で構成

2. 委員の資格

- （1）主査は、本プログラムの研究指導担当の専任教員とする。
- （2）副査のうち少なくとも 1 名は、主査と専門分野が異なる者とする。
- （3）必要に応じて他大学の大学院又は研究所等の教員等を副査とできる。

3. 審査手順等

- （1）審査委員会委員長からの実施依頼に基づき、当該学位論文について、審査日時及び審査会場を設定する。
- （2）公開審査及び最終試験を実施する。
- （3）学位論文審査報告書及び学位論文審査報告確認書を作成する。
- （4）主査は前号の書類を審査委員会委員長に提出する。
- （5）論文の要旨は、1,000 字程度とする。
- （6）審査の要旨は、1,000 字程度で記入し、学位論文の審査及び最終試験に係る基準に沿った評価を含むものとする。
- （7）主査及び副査は、それぞれ学位論文審査報告書を確認し、自署する。

（評価項目）

<学位論文の審査に係る基準>

- ① 関連分野の国際的な研究動向および先行研究の把握に基づいて、人間情報学における当該研究の意義や位置づけが明確に述べられているか。
- ② 人間情報学の発展に寄与するオリジナルな研究成果が、学術論文として発表するのに相応しい量含まれているか。
- ③ 研究結果の信頼性が十分に検証されているか。
- ④ 研究結果に対する考察が妥当であるとともに、結論が客観的な根拠に基づいているか。
- ⑤ 研究の背景、目的、方法、結果、考察、結論等が学位論文に相応しい形式にまとめられているか。

＜最終試験に係る基準＞

- ① 【分野横断力】幅広い専門知識と経験：エンパワーメント情報学を構成する各分野に渡って、基礎的な専門知識を備えるとともに、専門とする分野以外での研究または実務経験を有するか。
- ② 【分野横断力】豊かな教養と俯瞰力：エンパワーメント情報学に関わる幅広い分野に関する知識と、それを基に広い視野で問題を俯瞰的に考える複眼的思考力を備えているか。
- ③ 【魅せ方力】卓越した独創力：エンパワーメント情報学の特定分野における高い専門知識と独創的な研究能力を有し、その分野の専門家として認められる実績を有するか。
- ④ 【魅せ方力】国際的な表現力：専門分野において国際的に通用する学識と、関連分野で国際的に活動できるだけのコミュニケーション・プレゼンテーション能力を備えているか。
- ⑤ 【現場力】リーダーシップ：魅力ある目標を設定する力、その実現体勢を構築する力、人々の意欲を高めチームとして目標を達成する力、を併せ持ち、将来グローバルリーダーとして活躍可能か。
- ⑥ 【現場力】アントレプレナーシップ：さまざまな状況や制約条件に合わせた実践的な技術開発の能力と、新しい事業を創造し、高いリスクに果敢に挑戦する力を有するか。

（評価基準）

上記の評価項目すべてを満たす学位論文であること、最終試験が合格であることが博士の学位授与の要件である。